

教科	教科の課題 生徒の実態	具体的な授業改善策 補充的、発展的な改善内容
国語	<ul style="list-style-type: none"> 既習事項が定着している生徒が多い。 文章の要旨をとらえることが苦手な傾向がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 既習事項を取り入れた課題文や話し合い活動を行う。 教科書や新聞記事を活用し、本文の要約に取り組む学習活動を設定する。
社会	<ul style="list-style-type: none"> 授業には集中して取り組むことができている。 既習事項の定着や、知識をもとに考えたり表現したりすることに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 小テストを実施したり課題に取り組ませたりすることにより、基礎基本の定着を図る。 思考を深めるような問いを立てて、考えさせる授業を展開する。
数学	<ul style="list-style-type: none"> 授業に前向きに取り組んでいる生徒が多い。 基本的な知識や技能の習得ができている生徒が多い。 数学を活用した問題解決が苦手な傾向がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 既習事項を活用し、生徒が自ら考えて、自力で解決できるような課題を多く取り入れる。 論理的に説明する活動を多く取り入れる。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 実験の結果を分析し考察することが苦手な傾向がある。 授業に前向きな生徒が多く、集中して取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業中にレポートの考察を行い、考え方や表現の仕方を指導する。 既習事項に関する課題に取り組ませ、基礎学力の定着を図る。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 上級生として、下級生の手本になろうとする姿勢がある。 練習に取り組む意欲に個人差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 演奏の達成感を得られるよう授業内容を工夫し、練習への意欲向上を図る。
美術	<ul style="list-style-type: none"> 授業に意欲的に取り組んでいる。 アイデアを深く練ったり、より良い工夫をしたりすることに課題がある生徒が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> すぐに作品を完成したと考えてしまう生徒に対しては、参考作品を見せたり、考えるポイントを説明したりして、より良い作品づくりのイメージをもたせるようにする。
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> 授業に対して意欲的で、安全に留意して取り組んでいる。 男女の体力の差が顕著に表れてきている。 	<ul style="list-style-type: none"> 男女で別の課題を設けるなど、個に応じた指導を心がけ、それぞれの生徒の体力の向上を図る。
技術	<ul style="list-style-type: none"> 授業や実習に意欲的に取り組んでいる。 知識の定着に課題がある生徒がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> プリントの活用を充実させる。 プリントをきちんとまとめさせ、提出を徹底させる。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> 授業内容の理解度は高い。 製作において、完成すればよいという考えである生徒が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 作品鑑賞会で互いの作品を見合うことや、より日常生活で必要性を感じられる物を題材に取り上げる。
英語	<ul style="list-style-type: none"> 聞くこと、読むこと、書くことについては日々の学習の積み重ねの成果が認められる。 話すことに自信がない生徒が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 使用教材を繰り返し使い、4技能それぞれに特化した活動で定期的に復習の機会を設ける。 日々の話す活動や定期的なパフォーマンステストにより、自信をつけさせる。